

倫理審査申請書

富山赤十字病院倫理委員会
委員長 清水一夫殿

申請者名 小林孝一郎
所 属 呼吸器外科
職 名 第1呼吸器外科部長



※ 受付番号 293

1. 課 題 名	逝去時のケアとしての見送りに関する調査	
2. 主任研究者	所属・職・氏名	呼吸器外科 第1呼吸器外科部長 小林孝一郎
3. 分担研究者	所属・職・氏名	看護部 師長 村上真由美
4. 研究等の概要	<p>【目的】亡くなられた患者をどう見送るかは重要だが、施設により対応はまちまちであり、その実態を調査した研究は見当たらない。昨年度われわれは、逝去時のケアにおける見送りのあり方について検討するため、富山赤十字病院の医師と看護師に、見送り時の焼香についての意識調査と実態調査を実施した。今回われわれは、富山県内および北陸地区、東海地区、全国での見送りの実態を明らかにするため、各施設の医師や看護師を対象に、死亡確認から退院までの流れを調査することにした。</p> <p>【調査方法】各施設の死亡確認から退院までの見送りの手順について、調査票を用いてアンケート調査を実施する。</p>	
5. 研究等の対象及び実施場所	<p>対象：富山県内外の施設の医師および看護師 場所：富山県、石川県、三重県、兵庫県</p>	
6. 研究等における医学的倫理的配慮について（(1)～(3)は必ず記載のこと）	<p>(1) 研究等の対象とする個人の人権擁護 ・回答は任意であり、回答しないことで不利益は生じない。</p> <p>(2) 研究等の対象となる者に理解を求め同意を得る方法 ・調査協力を依頼し、回答をもって同意したものとする。</p> <p>(3) 研究等によって生じる個人への不利益並びに危険性と医学上の貢献の予測 ・侵襲のない非介入研究のため、個人の不利益は生じない。 ・看護手順にある逝去時のケア、患者搬送の項を見直すことで、業務改善ならびに職員の心理的負担を軽減できるという利益がある。</p>	